

「走り方教室」で地域へ貢献

当社陸上部の監督、コーチ、選手が講師となって、北九州市内の小学校4校の6年生を対象に「走り方教室」を開催しました。

この授業は、「北九州の企業人による小学校応援団」企画の一環として行われたもので、子どもたちは走り方の基本動作やリレーに熱心に取り組み、走ることへの興味・関心を高めてくれました。



腕振り、腿上げなど基本動作を練習

将来を担う子どもたちの健全育成、また、よい思い出作りのお手伝いことができました。

今回の活動に限らず、今後もよき企業市民として地域貢献に取り組んでまいります。

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬開催
剰余金の配当の基準日	○期末配当実施の場合……3月31日 ○中間配当実施の場合……9月30日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.krosaki.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	東京（第一部）・福岡
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031 受付時間／土・日・祝祭日を除く 9:00～17:00 インターネットホームページURL http://www.smtb.jp/personal/agency/

■株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

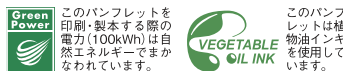
■特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、日本証券代行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しています。

電話照会先 **☎0120-707-843**
(受付時間/土・日・祝祭日を除く9:00～17:00)

黒崎播磨株式会社 (証券コード:5352)
〒806-8586 北九州市八幡西区東浜町1番1号

URL:<http://www.krosaki.co.jp/>
TEL.093-622-7224
FAX.093-622-7200



このパンフレットを印刷・製本する際の電力(100kWh)は自然エネルギーでまかなわれています。
このパンフレットは植物油インキを使用しています。

株主のみなさまへ

第124期 第2四半期のご報告

2014年4月1日から2014年9月30日まで

ごあいさつ

代表取締役社長

伊倉 信彦



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、拡販の成果を着実に収めつつあるものの、円安の進行による調達コスト増が継続するなど、不透明な状況が続いております。このような環境下、2019年に迎える創業100周年に向け、当社グループがより大きな事業価値のある企業体として存続・発展するため、引き続き以下の重点課題に取り組んでまいります。

- 1) 耐火物分野においては、厳しい販売競争の中でも利益成長を実現するべく、高い技術力を活かした業界随一のコスト競争力の確立。
- 2) 将来にわたる成長を担保するため、海外事業戦略のより積極的な展開。
- 3) ファーネス事業においては、顧客の期待に応える業界最高の整備技術・築炉技術の確立と作業効率化による競争力の強化。また、セラミックス事業におけるより広い地域・産業分野での拡販。

株主のみなさまにおかれましては、今後さらなるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

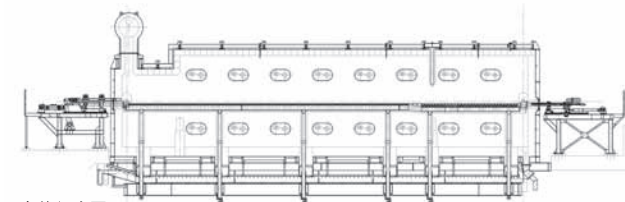
2014年
3月

王子製鉄株式会社殿に最新鋭省エネ型加熱炉を納入

王子製鉄株式会社殿群馬工場の加熱炉更新にあたり、当社のファーネス事業部は、最新の技術と耐火物を採用した連続式加熱炉を納入しました。

この炉は、排気の熱量を蓄熱体に蓄え、燃焼空気へ置換し再利用する蓄熱式燃焼システムを採用するとともに、炉内には当社ブランドの高性能耐火物を施工した、最新鋭省エネ型加熱炉です。

当社は、鉄鋼業における熱効率向上の一翼を担う存在として、さらなる生産性の向上および環境負荷低減の実現に貢献してまいります。



全体組立図



抽出側外観



炉内(耐火物は黒崎播磨ブランド)

言葉の解説

【加熱炉】鋼材を圧延加工する前段階として、適切な温度に加熱する炉

売上高 **536.1** 億円

売上高

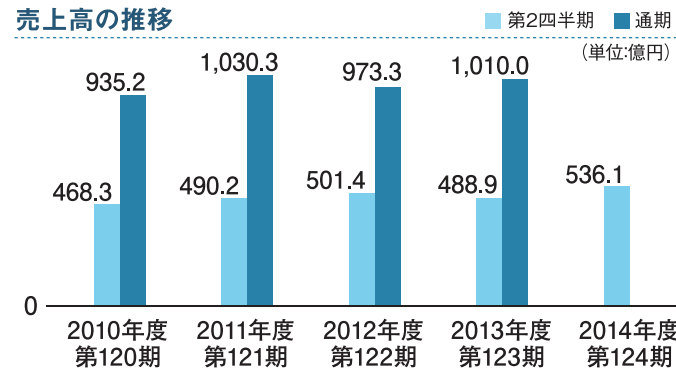
当期において、当社グループの主要得意先である鉄鋼業界の国内粗鋼生産量は、前年同期に比べ0.5%減の5,556万トンとなりましたが、当社グループでは、拡販の成果により、当期の売上高は、前年同期に比べ9.7%増収の536億15百万円となりました。

営業利益 **19.0** 億円
 経常利益 **18.0** 億円
 四半期純利益 **11.3** 億円

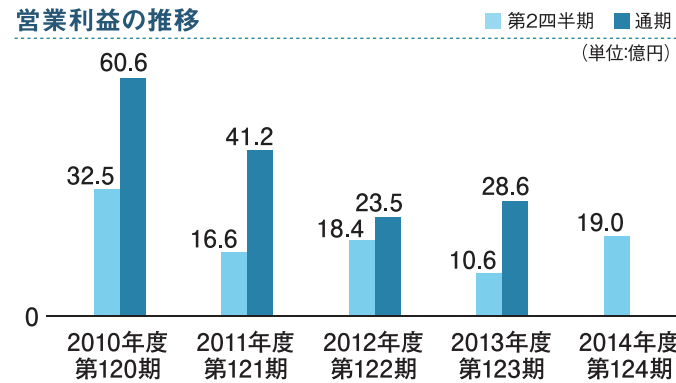
利益

損益については、売上高の増加及びコストダウンの取り組みを進めたことにより、当期の営業利益は、前年同期に比べ78.5%増益の19億7百万円、経常利益は、前年同期に比べ51.8%増益の18億円となりました。また、当期の四半期純利益は、前年同期に比べ35.2%増益の11億38百万円となりました。

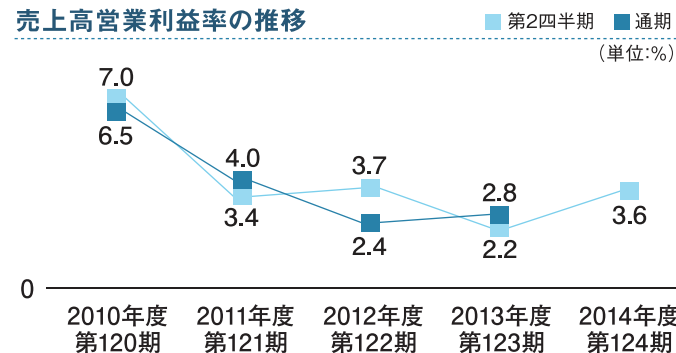
売上高の推移



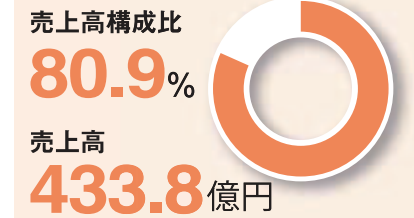
営業利益の推移



売上高営業利益率の推移



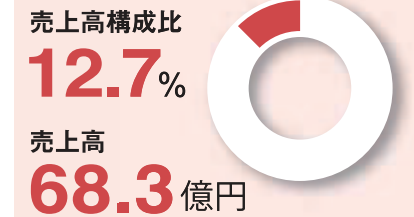
耐火物事業



拡販による売上増およびコストダウンによる利益率向上

拡販の成果により、耐火物事業の売上高は、前年同期に比べ10.2%増収の433億81百万円となりました。また、売上高の増加及びコストダウンの取り組みを進めたことにより、セグメント利益は、前年同期に比べ178.7%増益の11億12百万円となりました。

ファーンエス事業

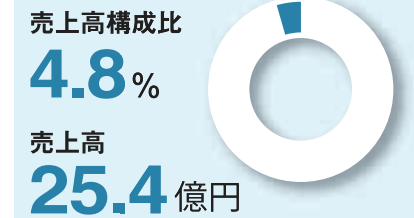


工事案件の増および利益率改善

ファーンエス事業の売上高は、前年同期に比べ8.9%増収の68億31百万円となりました。売上高の増加及び工事案件の利益率改善により、セグメント利益は、前年同期に比べ39.2%増益の3億90百万円となりました。

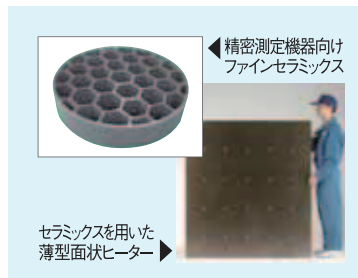


セラミックス事業

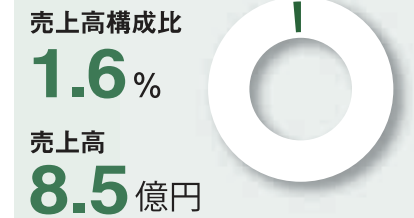


売上増えるも、品種構成の変化による減益

セラミックス事業の売上高は、前年同期に比べ3.5%増収の25億45百万円となりました。しかし、高付加価値製品の売上構成比が減少したことにより、セグメント利益は、前年同期に比べ44.1%減益の71百万円となりました。



不動産事業、その他



【不動産事業】

不動産事業の売上高は、前年同期に比べ1.2%増収の5億3百万円、セグメント利益は、前年同期に比べ2.5%増益の2億20百万円となりました。

【その他の事業(製鉄所向け石灰の製造販売)】

その他の事業セグメントの売上高は、前年同期に比べ14.3%増収の3億52百万円、セグメント利益は、前年同期に比べ24.6%増益の20百万円となりました。

